

TECHNICAL DATA

種 類	一材型ポリマーセメント系 下地調整塗材 (CM-2) タイル張付けモルタル 兼用
商 品 名	J S ア ク ロ Z - 1

改訂版数 :	第3版
--------	-----

DATE : 2023. 4. 1



菊水化学工業株式会社

標準施工仕様書(1)

- 種類：一材型ポリマーセメント系下地調整塗材（CM-2）
- 商品名：JSアクロZ-1
- 用途：陶磁器タイルの下地調整、コンクリート・モルタル等の下地調整
- 適用下地：コンクリート・PCパネル・セメントモルタル等
- 部位：内外部壁面
- 工程

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (20℃)	所要量
吸水調整	スタックプライマー#3 主材：18kg 清水：54～72L	ウールローラー 水性刷毛等	1	1以上	450～900m ² /18kg缶 0.10～0.20kg/m ² (5倍液として)
下地調整	JSアクロZ-1 粉体：25kg 清水：5～5.5L	金ごて	1以上	24以上 工程内 16以上	約5.7kg/m ² (約3mm厚、混練水を含む) 約5.3m ² (約3mm厚) 混練比重：約1.90kg/L 練り上り容量：約16L

● 施工上の要点

- (1) 欠損部の脆弱部を除去し、汚れ及び付着物は研磨紙、布及び水洗い等により除去してください。
- (2) 鉄筋が露出している場合は、スクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨紙等により錆を除去し、錆止め処理を行ってください。
- (3) 吸水調整として、スタックプライマー#3の希釈液を塗布してください。
- (4) 材料の調合は、清水5.0Lに主材25kgを徐々に加え、ハンドミキサーで均一に3分以上混ぜ合わせてください。その後、必要に応じて、0～0.5Lの清水で軟度調整してください。
- (5) 調合後の可使時間は、1時間以内(20℃)です。
- (6) 工法はコテ塗りとし、初めにコテ圧を掛けて塗り付け、最後に所定厚みに塗り付けてください。
- (7) 標準塗厚は3～10mmです。それ以上厚塗りする場合は数回に分け、クシ目（ハケ目）を入れ、硬化状態を見ながら塗り重ねてください。
- (8) JISA 6916（CM-2）の規定範囲は、塗厚が3～10mmで限定されます。

● 注意事項

- (1) 気温が5℃以下の場合は施工を避けてください。
- (2) 強風及び降雨、降雪の場合又はそれらが予想される場合は施工を避けてください。
- (3) 湿気や水掛かりに注意して保管してください。

標準施工仕様書(2)

- 種類：タイル張り付け材
- 商品名：JSアクロZ-1
- 適用範囲：外装陶磁器質タイル張り工事
- 工程：

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (20℃)	使用量
吸水調整	スタックプライマー#3 主材：18kg 清水：54～72L	ウールローラー 水性刷毛等	1	1以上	450～900m ² /18kg缶 0.10～0.20kg/m ² (5倍液として)
タイル 張り付け材	JSアクロZ-1 粉体：25kg 清水：5～5.5L	金ごて	1以上	24以上 工程内 16以上	約7.6kg/m ² (約4mm厚) 約4.0m ² (約4mm厚) 混練比重：約1.90kg/L 練り上り容量：約16L

● 施工の要点

①タイル

- (1) タイルは、JIS A 5209(陶磁器質タイル)の規定するJISマーク表示品とします。
- (2) タイルの生地質及び使用区分は表-1によります。

表-1 タイルの生地質及び使用区分

種別	生地質	使用区分
外装タイル	磁器・石器	建物外部

②目地割り及び伸縮目地

- (1) 割付け図は、原則として作成して下さい。
- (2) 伸縮目地の位置は特記による。特記がなければ縦横に直線の伸縮目地を設け、垂直方向では、柱形がない場合は柱間ごと、柱形がある場合は柱形の両側とし、水平方向では各階ごとに行ってください。
- (3) 伸縮目地用シーリングの目地寸法は特記による。特記がなければ幅10mm以上、深さ7mm以上とし、充填する。また、目地位置は、材料を含め下地モルタルの伸縮目地に合わせてください。
- (4) 伸縮目地にはみ出した材料は、すべて削り落とし、材料が十分でなく隙間ができた場合は、モルタルを補足し目地の形状を整えてください。

③下地及びタイルごしらえ

- (1) 必要に応じて、当製品などで下地調整を行ってください。
- (2) タイル張りに先立ち、下地モルタルの浮き、ひび割れ等进行检查し、不良箇所があれば補修してください。
- (3) 夏期に屋外のタイル張りを行う場合は、下地調整モルタル面に前日散水し、十分吸水させてください。

- (4) タイル張りに先立ち、コンクリート面又は下地モルタル面（当製品など）に必ずスタックプライマー#3の5倍希釈液を塗布してください。
- (5) タイルごしらは、必要に応じて行ってください。
- (6) 吸水性のあるタイルには、必要に応じて、適度の水湿しを行ってください。

④外装用タイル張り

4.1 標準施工面積

工 法		タイルの種類	塗厚(mm)	所要量(kg/m ²)	施工面積(m ² /袋)
外装	圧着張り	小口平以上二丁掛以下	5～6	8.3～12.5	2.0～3.0
		50角二丁ユニットタイル以下	3～5	5.0～8.3	3.0～5.0

4.2 材料の混ぜ合わせ

- (1) 清水5Lに材料25kgを徐々に加え均一に混練し、必要に応じて0～0.5Lの清水で軟度調整してください。
- (2) 調合後の可使時間は、1時間以内(20℃)とします。

4.3 圧着張り 〈小口平タイル以上二丁掛以下〉

- (1) あらかじめ下地を清掃し、適度の水湿しを行って下地の吸い込みを調整してください。
- (2) 目地割りに基いて水糸を引通し、原則として隅または角より横方向に張り進めてください。
- (3) 塗り付け面積は、1回当たり2m²以下、オープンタイムは30分以内とします。
- (4) 塗り付けは下地に十分なじむように行い、所定の厚みでむらなく平坦にしてください。
- (5) 塗り付け後、直ちにタイルを材料に押し当て、木づちの類でタイルと材料をなじませ、通りよく平らに張り付けてください。
- (6) 材料を塗り付け後、時間が経過してタイルの食い込みが悪くなった場合は、材料を塗り直してタイル張りを行ってください。
- (7) 張り付け後の目地修正は、なるべく15分以内とし、材料が固着した後は行わないでください。
- (8) タイルの張り付け後、材料の硬化の程度を見計らい、目地回りの材料をかき落とし、張り付け時に付着したタイル表面の汚れをブラシなどで洗い落とし、また、ちりほうき、布等で清掃する。この場合、タイルに衝撃を与えないよう静かに行ってください。

4.4 圧着張り 〈50角二丁ユニットタイル以下〉

- (1) あらかじめ下地を清掃し、適度の水湿しを行って下地の吸い込みを調整してください。
- (2) 目地割りに基いて水糸を引通し、原則として隅または角より横方向に張り進めてください。
- (3) 塗り付け面積は、1回当たり3m²以下、オープンタイムは30分以内とします。
- (4) 塗り付けは下地に十分なじむように行い、所定の厚みでむらなく平坦にしてください。
- (5) 張り付けは、材料を塗り付け後、タイルを張り付け、縦・横・目地幅の通りをそろえ、たたき板で目地部分に材料が盛り上がるまでたたき締める。なお、タイル張り継ぎ部分の材料は、除去し塗り直してください。
- (6) 表紙張りユニットタイルは、張り付け後時期を見計らい、水湿しをして紙をはがし、タイルの配列を直してください。
- (7) タイル張りが終了したのち、材料の締まりを見計らって、目地部の掃除を行ってください。

⑤気象条件

- (1) 気温が5℃以下の場合は施工をさけてください。
- (2) 直射日光下での施工はさけ、養生シート等で保護してください。
- (3) 強風及び降雨・降雪の場合は、施工を中止する。また、施工後それらが予想される場合は、

養生シート等で十分な保護をしてください。

⑥材料保管

- (1) 材料は、湿気や水掛かりに注意して保管してください。

組 成 表

種 類 下地調整塗材／タイル張付け材 兼用

商 品 名 J S ア ク ロ Z - 1

荷 姿 (吸水調整材) スタッコプライマー# 3 NET. 18kg/缶入
(タイル張付け材) J S ア ク ロ Z - 1 NET. 25kg/袋入

組 成

● スタッコプライマー# 3

内 容	重 量 (%)
エチレン・酢酸ビニル樹脂エマルジョン	45 ~ 46
清 水	54 ~ 55
計	100

● J S ア ク ロ Z - 1

内 容	重 量 (%)
ポルトランドセメント	40 ~ 50
骨材 (珪砂等)	50 ~ 60
添加剤 (保水剤、粉末エマルジョン)	2 ~ 4
計	100

—以下余白—

性能試験成績書(1)

種類	一材型ポリマーセメント系下地調整塗材 (CM-2)	
商品名	JSアクロZ-1	
供試材料	JSアクロZ-1	
試験方法	JIS A 6916 : 2014に準拠 (下地調整材CM-2)	
試験項目	規 格	結 果
軟度変化	-20~20%	6.5
耐ひび割れ性	ひび割れないこと	異常なし
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれがないこと (1000g球形おもり、50cm)	異常なし
曲げ強さ	5.0N/mm ² 以上	8.2
圧縮強さ	10.0N/mm ² 以上	38.5
付着強さ	標準養生時 : 1.0N/mm ² 以上	1.6
	低温養生時 : 0.7N/mm ² 以上	1.3
吸水量	2.0g以下	1.8
透水量	0.5ml/h以下	0.4
長さ変化率	0.15%以下	0.13
耐久 性	複層仕上塗材 : 割れ、膨れ、はがれがなく付着強さが1.0N/mm ² 以上 であること	異常無し 1.3
	陶磁器質タイル : 付着強さが0.6N/mm ² 以上であること	1.2
<p>※ 結果数値は試験値であり品質保証値ではありません。</p> <p style="text-align: center;">-以下余白-</p>		

性能試験成績書(2)

種類	下地調整・タイル張付け兼用プレミックスモルタル		
商品名	JSアクロZ-1		
供試材料	JSアクロZ-1		
試験方法	旧都市基盤整備公団が定める試験方法による		
試験項目	判定基準	結果	
保水性	80%以上、95%以下	84.5	
単位容積質量	1.80 kg/L以上	1.90	
接着 強さ	標準時	0.60 N/mm ² 以上	1.4
	温冷繰り返し後	0.60 N/mm ² 以上	1.2
長さ変化率	0.20%以下	0.13	
曲げ強さ	8.0 N/mm ² 以上	8.2	
<p>※ 結果数値は試験値であり品質保証値ではありません。</p> <p style="text-align: center;">-以下余白-</p>			

一般的な注意事項

《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分に行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS (安全データシート：旧 MSDS) を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになしてください。